

作業環境の整備で業績アップ! そして働きたくなる工場へ!

「なんとなくムダが多いと感じているが、どこから手をつけてよいかわからない」といったお悩みはありませんか? ものづくり現場の改善活動は、生産性の向上やコストダウンの実現に効果があり、多くの事業所が取り組んでいます。本号では、改善に向けた講座および事業所の取組み事例を紹介します。

I. 製造現場の改善活動

受講者募集中!

生産活動に携わる方々に必要な資質の向上を図るため、3つの講座をご用意しました。是非ご利用ください。

① 第45期工場改善研修講座 (全24日間) **長期**

5S・見える化・VE・QCD等について集中的に学びたい
リーダーに必要な現場改善の着眼点とノウハウを習得したい

開催 2018年7月5日(木)～2019年2月8日(金)

主催 姫路機械金属工業会(姫路商工会議所内)

1. 生産活動と改善の基礎
2. 5Sと見える化、VE
3. 品質・コスト・納期の改善
4. 作業改善分析技法の演習
5. 改善計画(テーマと進め方)の策定
6. 自社の参考になる優良企業の見学
7. リーダーシップ・安全衛生
8. 巡回指導・工場見学による改善活動
9. 社内改善活動・改善成果とりまとめ
10. 改善成果発表大会



これまで
**1,000名を超える方々が受講し
それぞれ、ものづくり現場の最前線で
活躍されています**



効果の確認まとめ

内容	目標	実績	評価	達成率
3ム改善	100s以下 (30%削減)	74s以下 (54%削減)	◎	135%
3定改善	すべての 工具	すべて 対応	◎	100%
CT改善	10%以上 短縮	17% 短縮	◎	108%
生産性改善	10%以上UP	20%UP	◎	108%

(昨年の参加企業による取り組み)

② ヒューマンエラーの 原因と対策方法 **1日**

ミスが起きにくい仕事の仕方を学びたい
ミスが起きても問題にならない方法を学びたい

開催 2018年6月20日(水)

主催 姫路商工会議所

1. 発生原因から見た製造現場の不良の分類
2. 不良を未然に防ぐ仕組み
3. ヒューマンエラーとその対策
4. ミスを誘発する組織の問題
5. ヒューマンエラーを発見する仕組み
6. 不良未然防止演習

③ 保全のない工場では故障を無くす 5ステップ展開! **半日**

機械保全は「見て習う」から「教える」へ
設備のメンテナンスに必要な知識を身につけたい

開催 2018年8月7日(火) 詳細は7月号チラシをご参照ください。

主催 株式会社日本能率協会コンサルティング

1. ものづくり現場の実態
2. 製造現場になぜ「設備保全技能」が必要か
3. 現場を強くする設備保全技能教育の進め方
4. 安全な作業、工具の説明
5. 技能教育事例：給油について(潤滑)編
6. グループワーク

Ⅱ. ITツール活用による見える化

デジタルツールを使って、生産工程を「見える化」したい

4月20日(金)に公表された「2018年版中小企業白書」において、株式会社宝角合金製作所による取り組みが掲載されましたのでご紹介します。

IT利活用による労働生産性の向上／2018年版中小企業白書より

事例2-4-5：株式会社宝角合金製作所

商工会議所に相談し、各種施策の提案を受け、 生産工程の「見える化」により生産性向上を推進した企業

兵庫県姫路市の株式会社宝角合金製作所（従業員40名、資本金2,000万円）は、中大物機械加工を得意とする産業機械向け部品の製造業者である。同社の経営課題は納期遅れへの対応を主眼とした生産性の向上である。時代の流れとともに顧客ニーズの多様化が進む一方で採用状況は好転せず人手不足が常態化している。

限られた人手で納期を短縮して生産性を高めるためにも、より「見える化」を進めた生産管理システムの構築が必須だと同社は考えた。課題と助力を得たい点を明確化した上で姫路商工会議所に相談したところ、ソフト面ではミラサポの専門家派遣制度の、ハード面では姫路市ものづくりIT化推進事業（補助金）の、それぞれの提案を受けた。姫路商工会議所の支援を得て申請を行った結果、専門家派遣制度では、生産管理システムの導入部分の指導を受けることができ、姫路市ものづくりIT化推進事業（補助金）では、生産管理システムと連携させる工場内のWi-Fi化を進めることができた。

専門家派遣制度では、専門家の指導により身近な作業を補助するソフトの開発を自前でできるようになって、将来的な自社での生産管理ソフトの開発に弾みがついた。工場内のWi-Fi化では、現状の生産管理システムでも無線LAN化によりWindowsタブレットが使用しやすくなった。従来の各端末と異なり作業者の手で様々な情報を確認できるので、移動等に係わる無駄な時間が省けた結果、1人当たり1日15分、現場全体で1日9時間程度削減できた。また、従来のノートPC等と比較するとタブレットでは現場等で使用した際の故障率が圧倒的に下がった。

ミラサポの専門家謝金の総額4万円は制度利用のため自己



(宝角勝利社長)

負担は無かったが、制度活用後に総額10万円のコンサル契約を結んだ。姫路市ものづくりIT化推進事業（補助金）による工場内のWi-Fi化は総額217万円で工事費や設定料金も含まれる。補助額は上限の100万円、自己負担額は117万円であった。

相談の心得として宝角勝利社長は、「商工会議所へ困りごとを相談する際は、当社をどの支援機関につないでどの支援制度を紹介すれば良いかを判断しやすくなるように、企業課題と支援ニーズを明確にするように心掛けた。」と語る。

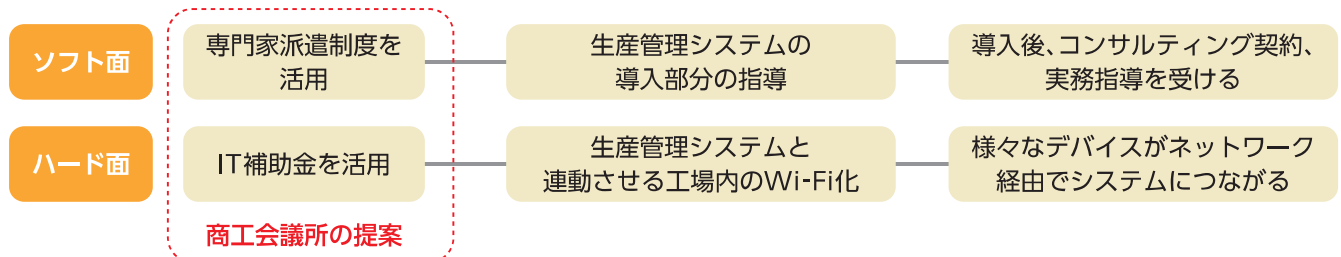


工場内で使用されるタブレットと無線LANのアクセスポイント

相談を受けた姫路商工会議所の千田進氏と田尻雅嗣氏も「何を相談したらいいかわからない中小企業へは、『優先的に取り組むことを見つけたい』という相談の仕方を勧めることがあるが、宝角社長は相談内容が明確で的確な支援策を提案しやすい。」と語る。

「2018年版中小企業白書」(中小企業庁ホームページ <http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/index.html>)を加工して作成

株式会社宝角合金製作所による取り組み(イメージ)



お気軽にお問合せください。

中小企業相談所 TEL 079-223-6555

姫路ものづくり支援センター TEL 079-221-8989